



# キャンパスライフ

TOTTORI UNIVERSITY YONAGO CAMPUS

バックナンバーは  
こちらから▶▶▶



特集

## 寄附講座「認知症予防学講座」の設置

### 日本のどこに住んでいても 認知症予防ができる社会を目指して

#### 認知症予防は現代社会の喫緊課題

このたび、小林製薬株式会社の支援を受け、本学医学部保健学科に寄附講座「認知症予防学講座」が設置されました。期間は2022年4月から3年間で、認知症予防ができる社会の実現を目指し、教育(人材育成)、研究や地域貢献に取り組んでいくものです。

病気の予防には、発症予防、早期発見・治療、進行防止の3段階があります。認知症予防においてもこの3つがとても重要です。しかし十数年前まで認知症は「予防できない」といわれ、その研究や取り組みは軽視されてきました。では、なぜ今「予防」なのでしょう。

日本は、世界に類を見ないスピードで高齢化が進行しており、それに伴って認知症患者も急増、2025年には65歳以上の認知症患者数が約700万人(5人に1人)に

なると予測されています。まさに“待ったなし”の状況です。ところが現在の医療では、薬で進行を遅らせることはできても認知症を治すことはできません。だからこそ「予防」が認知症対策の“カギ”となるのです。

#### 予備軍をいち早く捉え、発症させない

認知症発症の一步手前である「軽度認知障害(MCI)」を発見することができれば、適切な対策をとることで正常な状態に回復、もしくはMCIに留めることが可能です。そうした発症予防に効果的なのが、運動・知的活動・コミュニケーションを組み合わせた「とっとり方式認知症予防プログラム」です。これは、私たちが2004年から琴浦町で行っていた認知症予防の活動が評価され、鳥取県全域へ広めていこうと、行政と連携して研究開発されたプログラムです。県内はもちろん、日本全国へ広げていくことが本講座の役割の一つだと考えています。



とっとり方式認知症予防プログラムの実践風景

認知症は、最初に“もの忘れ”の症状が



うらかみ かつや

浦上 克哉 寄附講座教授  
医学部保健学科 認知症予防学講座

出ると思われがちですが、実は“臭いが分からなくなる”のが初発症状です。しかし、よほどひどくならないと嗅覚の変化に気付くことはできません。そこで本講座では、高精度かつ短時間で認知症に係る嗅覚機能の低下を判定する検査キットの開発を進めています。また、弱った嗅神経を活性化させて回復へ導くアロマセラピーも既に研究開発しており、さらなる検証を行うとともに、サプリメントや食品なども含めた非薬物療法の研究開発に取り組んでいく予定です。

本講座では、認知症関連疾患に対する専門知識と技術の修得を目指す学生の指導にも力を注いでいます。世の中で活躍できる医療人を輩出することで「認知症は予防できる」という認識がさらに広まり、地域社会に貢献することができればと思っています。



協定書を手に記念撮影

## Sun'in Spot

山陰スポット



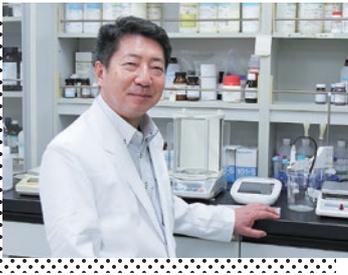
### 米子・加茂川地蔵巡り

医学部キャンパスにほど近い加茂川沿いでは、数多くのお地蔵さまに出会うことができます。このお地蔵さまは日本遺産に登録されている「地蔵信仰が生んだ日本最大の大山牛馬市」のストーリーの一部になっています。お地蔵さんには延命や開運など、それぞれ願いが込められており、人々は江戸時代からお地蔵さんをお願いをするようになりました。

毎年8月には「地蔵盆」と呼ばれる、子供の安全と健やかな成長を願うまつりが行われており、地蔵盆の宵祭りに合わせて行われる「加茂川まつり」では、加茂川沿いにある21カ所のお地蔵さんを巡る「お地蔵さんスタンプラリー」というイベントも開催されています。



## 研究室紹介



いまむら たけし

今村 武史 教授

医学部医学科 病態解析医学講座  
薬理学・薬物療法学分野

## インスリン抵抗性関連疾患の治療薬開発

～筋線維の量と糖代謝の関連性からサルコペニア治療を探る～



「インスリン抵抗性」とは、体内で作られるインスリンの働きが悪くなる、ということです。メタボリック症候群や糖尿病などに共通する現象で、長期になると心筋梗塞や脳卒中といった疾患を引き起こします。ですから、インスリン抵抗性関連疾患の予防・治療は、高齢化社会における健康維持に欠かせないものです。

関連疾患の一つ「サルコペニア（骨格筋萎縮症）」では、常に動いてエネルギーを消費する筋繊維「中間筋線維」や「赤筋線維」が減少す

ることが多く、糖代謝が悪くなってインスリン抵抗性が増し、さらには糖尿病を発症することがあります。私たちはそこに着目し、タンパク質の合成を調整している「マイクロRNA」の機能を抑制することにより中間筋線維を増やすことができる、ということを見出しました。

マイクロRNA機能抑制薬は、基礎研究レベルで有効性が確認されており、現在は動物実験モデルを用いた検討へと進んでいます。近い将来、臨床研究につながることを期待しています。

## サークル紹介

### ソフトテニス部



#### ●こんな活動をしています

大会でいい成績を残すことを目標に、基礎練と試合形式の練習を行っています。そして、オフに入る前や大会前は部内で試合を行います。コロナ渦以前は、夏合宿・春合宿も開催していました。また、追出しコンパでは、テニス以外のレクリエーションも行っていました。



#### ●ソフトテニス部のいいところ

男女混合で、のびのび楽しく活動しています。学年や学科は関係なく、仲良しです！オフも約半年あり、学業やバイト、旅行など、それぞれやりたいことも楽しむことができます。

部員数	64名(男:30/女:34)
活動日	毎週月水+
活動場所	テニスコート(学内外)

### 将棋部



#### ●こんな活動をしています

部員同士で将棋を指し、対局後は時に真剣にそしてワイワイと自分の指した手を検討。鳥取市から来ていただいている師範と相談しながら将棋の腕を高めています。また、「将棋の作法を学び礼儀を学ぶ」ことも大切にしています。



#### ●将棋部のいいところ

米子キャンパスと鳥取キャンパスの両将棋部に積極的に交流を行っていて、春と秋の大会も一緒に出場。団体戦、個人戦ともに頑張っています。常に部員は募集しているのでいつでも遊びに来てください！

部員数	19名(男:18/女:1)
活動日	毎週水
活動場所	同窓会館

## 生協おすすめメニュー

### 夏野菜と鶏肉のトマト煮



Please try it!

揚げた茄子とズッキーニを食べやすい甘めのトマトソースで煮込みました。旬の野菜をたっぷりどうぞ！



## 学内スポット

### サークル棟



医学部創立75周年事業の一環としてサークル棟が新営されました。このサークル棟は設計段階から学生の意見が取り入れられ、ジャズ研究部と軽音楽部の部屋には簡易的な防音設備が取り付けられるなど、学生が活動に邁進できる環境となっています。ここには運動部、文化部など9つのサークル・部が入り、学生のサークル活動の充実と交流の場となっています。